

平成27年度一般会計補正予算(第8号)可決

物部支所庁舎建設事業・防災行政無線デジタルシステム整備事業など、各種事業費の確定、国、県の負担金・補助金が確定したことによる補正予算となっています。

自動車共済保険金
Q 150万円からの補正があつているが、状況の説明を。
A 平成27年度には15件の事故があり、その内修理をした件数が12件で、事故共済の保険金は149万1091円。あとは、4件の解約返戻金である。

南国香南香美租税債権管理機構
Q 負担金が減額となつてはいるが、その内訳と収納率に対する費用対効果はどうか。移管の1件当たりの金額は、前は100万円であつ

マイナンバー交付事業補助金
Q 648万1千円の減額補正の理由は。
A 平成27年度の交付実績に係る額を実績とし、残つたお金を返還して平成28年度に組み直すという形を取つた。

森林保険金
Q 初めて出てきてい

墓地永代使用料
Q (使用料とは) 条例によるところの利用料のことか。105万5千円の内訳を。前山墓地の使用状況を。
A 利用料のことである。前山墓地公園で3区画の返還があり、募集を行ったところ2区画で利用者が決定した。金額はその利用料である。新たに2区画返還があつた。募集時期は未定だ。

放課後等学習支援事業
Q 賃金と委託料が減額になつてはいるが。
A 事業が年度途中から始まつたこともあり、年間計画がこなせなかつた。

社会福祉協議会業務委託費
Q 委託料が減額になつてはいるが内訳を。
A 全額人件費の減額で昨年度は事務局長が市からの出向であつたことや、会長の勤務日数が減つたことなどである。

機械
Q 費用対効果の分析は。
A 本年度移管した本税が3573万6536円で、徴収した額は2644万8668円で74・01%となつてはいる。徴収額は、督促料や延滞金がつくので、機構への負担金の2・58倍の徴収となつてはいる。

分収造林地罹災に伴う保険金
A 分収造林地罹災に伴う保険金だ。納入義務者は森林総合研究所森林整備センターである。

機構への負担金
A 機構への負担金は人件費が8割となつてはいる。平成27年度は1375万8420円で、1件当たりの単価は人数割で15万8143円となつてはいる。移管の1件当たりの平均金額は40万7千円ぐらいになつてはいる。

現在はどうなつてはいるか。
A 機構への負担金は人件費が8割となつてはいる。平成27年度は1375万8420円で、1件当たりの単価は人数割で15万8143円となつてはいる。移管の1件当たりの平均金額は40万7千円ぐらいになつてはいる。



平成27年度一般会計補正予算(第8号)を審査

平成28年度補正予算(第2号)を可決

平成28年度補正予算で追加されたもの

- ★ 2月豪雨にかかる災害復旧事業費 700万円
- ★ 地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、水圧式二重洗浄そぐり機、2台分のリース料 400万円

(農業振興費 –口メモ)

水圧式二重洗浄そぐり機は、農家の省力化のために役立てられます。
 平成28年度当初予算では、農業振興費として「多面的機能支払交付金」や、「青年就農給付金」などの補助事業のほか、ビニールハウスの耐震対策に「燃料タンク対策事業費補助金」585万円、ビニールハウスの中で二酸化炭素を発生させる「環境制御技術導入加速化事業費補助金」176万6千円などが予算化されています。人手不足を補うため、ユズの消毒を自動でするスピードスプレーも現在1台導入されています。

項目別の補正額と合計額

歳入	当初予算	補正額	計
1. 市税	2,460,668	0	2,460,668
2. 地方譲与税	118,012	0	118,012
3. 利子割交付金	7,334	0	7,334
4. 配当割交付金	17,401	0	17,401
5. 株式等譲渡所得割交付金	14,937	0	14,937
6. 地方消費税交付金	490,682	0	490,682
7. ゴルフ場利用税交付金	14,463	0	14,463
8. 自動車取得税交付金	16,635	0	16,635
9. 地方特例交付金	7,884	0	7,884
10. 地方交付税	6,830,000	0	6,830,000
11. 交通安全対策特別交付金	4,059	0	4,059
12. 分担金及び負担金	59,683	3,000	62,683
13. 使用料及び手数料	968,921	250	969,171
14. 国庫支出金	2,068,950	▲3,255	2,065,695
15. 県支出金	1,412,882	24,613	1,437,495
16. 財産収入	36,708	0	36,708
17. 寄付金	51,001	0	51,001
18. 繰入金	898,265	34,320	932,585
19. 繰越金	2,000	0	2,000
20. 諸収入	259,587	44	259,631
21. 市債	1,915,928	464,300	2,380,228
計	17,656,000	523,272	18,179,272

歳出	当初予算	補正額	計
1. 議会費	146,773	7,494	154,267
2. 総務費	2,512,379	5,732	2,518,111
3. 民生費	6,007,133	▲2,544	6,004,589
4. 衛生費	1,272,489	▲9,500	1,262,989
5. 労働費	1	0	1
6. 農林水産業費	1,078,358	▲18,365	1,059,993
7. 商工費	195,343	3,345	198,688
8. 土木費	1,374,210	▲57,655	1,316,555
9. 消防費	1,282,149	3,509	1,285,658
10. 教育費	1,452,610	545,839	1,998,449
11. 災害復旧費	94,551	45,167	139,718
12. 公債費	2,189,539	0	2,189,539
13. 諸支出金	20,465	250	20,715
14. 予備費	30,000	0	30,000
計	17,656,000	523,272	18,179,272

(単位：千円)

